

SD 法による催眠感受性尺度の印象評定

○武居将志(東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科),
長谷川明弘(東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科)
キーワード: 催眠, 暗示, 催眠感受性 (30 分)

【目的】

催眠感受性とは, 変性意識状態を喚起するために提示される暗示に対する反応特性である。本研究では, スタンフォード催眠感受性尺度(Weitzenhoffer & Hilgard, 1959, 1962)を元に暗示の表現形態の異なる 3 種類の暗示文を作成した。作成した暗示文は統制群, 直接暗示文群, 間接暗示文群の 3 種類であった。それらの暗示文を SD 法によって印象評定し, どのような差があるのかを検証することを研究目的とした。

【方法】

SD 法による質問紙調査の協力を依頼し, 大学生, 専門学生 156 名に調査協力が得られ, その中で記入不備などがなかった 131 名が分析対象となった。SD 法に用いた形容詞対は, 井上・小林(1985)を元に認定催眠士 1 名と大学院生 7 名と合議の上, 「やわらかいーかたい」, 「重いー軽い」, 「気持ちのよいー気持ちのわるい」, 「深いー浅い」の 4 対を選定した。印象評定は, 作成した暗示文から 8 文ずつ抜き出し対象とした。また, 暗示文は 5 つのカテゴリに分類した(問いかけ暗示(被催眠者に質問をしている暗示文), 指示暗示(被催眠者の行動を促し, 生起させている暗示文), 説明暗示(催眠現象を例示している暗示文), 示唆暗示文(被催眠者に催眠現象の生起の可能性を示している暗示文), 深化暗示(催眠現象をより深める暗示文))。印象評定は 4 件法を用いて行った。

【結果】

性別ならびに個人内要因となる暗示の表現形態を独立変数, 形容詞対毎の得点を従属変数とした 2 要因反復測定分散分析を行った。「やわらかいーかたい」において, 問いかけ暗示, 指示暗示, 示唆暗示で直接暗示文群が他の 2 群と比べ, 1%水準で有意に高い得点を示した。また, 説明暗示, 深化暗示, 示唆暗示において 5%水準で有意に高い得点を示した。「深いー浅い」において, 指示暗示で男性の得点が女性の得点と比べ, 1%水準で有意に高い得点を示した。また, 問いかけ暗示, 示唆暗示, 指示暗示において 5%水準で有意に高い得点を示した。

【考察】

本研究の結果, 暗示文の表現形態を変化させることが印象評定に影響を与える可能性があることが見出された。直接暗示文群は他の 2 群に比べて「かたく」「重く」「気持ちのわるい」印象を与えることが示された。このことから直接暗示文は, 形式的で, 緊張感や不安感, 嫌悪感を与える可能性があると考えることが出来る。統制群, 間接暗示文群の暗示文が直接暗示文群のような印象を持たれにくかった理由として, 表現の柔らかさ, 現代の日本語の語調と類似していることがあげられる。高澤(2015)は現代の言語表現において命令形の婉曲化を指摘しており, 直接的な暗示への堅苦しきや嫌悪感を生起させていたと考えられる。また, 「深いー浅い」において, 男性は説明暗示, 深化暗示以外の暗示文で「浅い」印象を感じている。篠崎・成瀬(1966)は女性の催眠感受性が男性と比べてわずかに高いことを指摘している。本研究での結果は調査への関心度の影響も考えられるが, 女性の方が暗示に対してより「深く」没入しうる可能性を示唆して

いると考えられた。本研究は、催眠状態へと喚起される人の特徴に応じた暗示の提示の仕方について、基盤となり得る結果の一つとなっていくことが期待され、引き続き研究と検討を進めていきたい。

【附記】

本研究の調査参加者募集のために協力して頂いた酒井徹也先生に心より御礼申し上げます。また、調査に協力して頂いた皆様に深く感謝を申し上げます。

SD法による催眠感受性尺度の印象評定

東洋英和女学院大学大学院
人間科学研究科
武居将志・長谷川明弘

催眠感受性とは

- 催眠現象を喚起するために必要な暗示への反応特性
≡催眠現象の生起のしやすさ
- 特徴
催眠者を変えても変化が少ない安定性, 恒常性
(Hilgard 1973)

催眠感受性の測定

- ▶スタンフォード催眠感受性尺度
(Weitzenhoffer & Hilgard, 1959, 1962)

→1962年に日本語訳され, 2004年に改訂訳版が発刊

→A, B, Cの3パターンあり, 集団向けの尺度も存在

スタンフォード催眠感受性尺度の概要

- 項目数 12項目
- 得点
0~4 低催眠感受性
5~7 中催眠感受性
8~12 高催眠感受性

表1 スタンフォード催眠感受性尺度項目

体位動揺	閉眼
手の下降	腕の不動
指の組み合わせ	腕の硬直
両手の浮動	言語抑制
幻覚	眼瞼硬直
後催眠暗示	健忘

目的

- ◆ 暗示文の印象をSD法によって調査
- ▶ 暗示文の表現形態の差異が被催眠者の印象に与える影響の比較検討
- ▶ 暗示文の表現形態が適切にその表現を出来ているかどうかの検討

方法

実験参加者 大学生156名(うち分析対象131名)
※参加者は群毎に無作為に割り振った

実験計画 3要因混合計画

- ▶ 性別 (男性vs女性: 参加者間)
- ▶ 暗示文の表現形態 (統制vs直接暗示vs間接暗示: 参加者内)
- ▶ 形容詞対ごとの印象評定得点 (参加者内)

材料：暗示文（統制文）

- ・スタンフォード催眠感受性尺度を抜粋して作成

表2 統制文において印象評定に用いた暗示文一覧

○構成

- 1.ラポールの形成パート
- 2.暗示パート（閉眼）
- 3.暗示パート（眼瞼硬直）
- 4.解催眠パート

あなたの上部前方の小さな、光った〇〇が見えますか？
じっとそうしながら私の言うことをよく聞いてください。
素晴らしい芝居を見て、自分が観客であることも忘れ、まるで自分が登場人物でもあるかのように感じている時はいつもある意味では催眠されているのです。
目は目標に向け、出来るだけじっとそれを見つめていて下さい。
まぶたは重くなってきます。
ただ私の声だけをじっと聞いていてください。
1つ—あなたは深い眠りに落ちていきます…2つ—一步一步深い、安らかな眠りに落ちていきます…3つ—4つ—ますます深く深く眠り込んでいきます…5つ—6つ—7つ—体は沈んでいきます、深い深い眠りの中に沈んでいきます。
あなたは眠りがついています。

材料：暗示文（直接暗示文）

- ・統制文を命令形・言い切りの形に変えた暗示文

表3 直接暗示文において印象評定に用いた暗示文一覧

○直接暗示とは

- ・指示的・権威的な表現
- ・はっきりと直接的に特定の反応を要求する (Lankton 2010)

あなたの上部前方の小さな、光った〇〇を見なさい。
じっとそうしながら私の言うことをよく聞きなさい。
素晴らしい芝居を見て、自分が観客であることも忘れ、まるで自分が登場人物でもあるかのように感じている時は、いつもある意味では催眠状態です。
目は目標に向け、出来るだけじっとそれを見つめなさい。
まぶたは重くなります。
ただ私の声だけをじっと聞きなさい。
1つ—あなたは深い眠りに落ちます…2つ—一步一步深い、安らかな眠りに落ちます…3つ—4つ—ますます深く深く眠り込みます…5つ—6つ—7つ—体は沈みます、深い深い眠りの中に沈みます。
あなたは眠りがつきます。

材料：暗示文（間接暗示文）

・統制文を許容語の形に変えた暗示文

表4 間接暗示文において印象評定に用いた暗示文一覧

あなたの上部前方の小さな、光った〇〇を見ることが出来ます。
じっとそうしながら私の言うことをよく聞くことが出来ます。
素晴らしい芝居を見て、自分が観客であることも忘れ、まるで自分が登場人物でもあるかのように感じている時は、いつもある意味では催眠されているといえるかもしれません。
目は目標に向け、出来るだけじっとそれを見つめることが出来ます。
まぶたを重いと感じるかもしれません。
ただ私の声だけをじっと聞くことが出来るでしょう。
1つ—あなたは深い眠りに落ちていくことが出来ます…2つ—一步一步深い、安らかな眠りに落ちていくことが出来ます…3つ—4つ—ますます深く深く眠り込んでいくことが出来ます…5つ—6つ—7つ…体が沈んでいくように感じあなたは眠りたがっているかもしれません。

○間接暗示とは

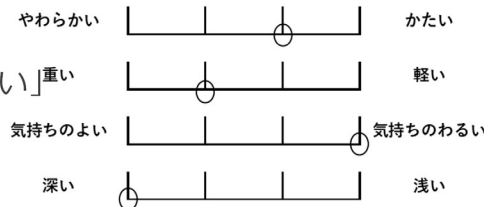
- ・“利用”アプローチの一技法である許容語例）～出来る～かもしれない

材料：印象評定質問紙

○用いた形容詞対

- ・「やわらかい」－「かたい」
- ・「重い」－「軽い」
- ・「気持ちの良い」－「気持ちのわるい」
- ・「深い」－「浅い」

回答例



○左側を1，右側を4とする

4件法として置き換えて分析

材料：選定暗示文の分類

・選定暗示文を5カテゴリに分類

表5 選定暗示文例（統制文）

1	あなたの上部前方の小さな、光った〇〇が見えますか？
2	じっとそうしながら私の言うことをよく聞いてください。
3	素晴らしい芝居を見て、自分が観客であることも忘れ、まるで自分が登場人物でもあるかのように感じている時は、いつもある意味では催眠されているのです。
4	目は目標に向け、出来るだけじっとそれを見つめていて下さい。
5	まぶたは重くなってきます。
6	ただ私の声だけをじっと聞いていてください。
7	1つ—あなたは深い眠りに落ちていきます…2つ—一步一步深い、安らかな眠りに落ちていきます…3つ—4つ—ますます深く深く眠り込んでいきます…5つ—6つ—7つ…体は沈んでいきます、深い深い眠りの中に沈んでいきます。
8	あなたは眠りたがっています。

○カテゴリ

1. 問いかけ暗示 (1)
2. 指示暗示A・B・C (2,4,6)
3. 説明暗示 (3)
4. 示唆暗示A・B (5,8)
5. 深化暗示 (7)

結果

◆「やわらかい－かたい」

表6 「やわらかい」－「かたい」分析結果一覧

○問いかけ暗示 ○指示暗示A・B・C
直接暗示文群が他の2群と比べ、1%水準で有意

○説明暗示 ○深化暗示 ○示唆暗示A・B
直接暗示文群が他の2群と比べ、5%水準で有意

群の主効果の検定	
問いかけ	F(2,128)=44.731, p<.01
指示A	F(2,128)=38.409, p<.01
説明	F(2,128)=5.131, p<.05
指示B	F(2,128)=39.586, p<.01
示唆A	F(2,128)=8.297, p<.01
指示C	F(2,128)=35.541, p<.01
深化	F(2,128)=5.215, p<.05
示唆B	F(2,128)=7.080, p<.05

結果

◆ 「深いー浅い」

○ 問いかけ暗示

男性の得点が女性の得点と比べ、1%水準で有意

○ 示唆暗示A・B ○ 指示暗示A・B・C

男性の得点が女性の得点と比べ、5%水準で有意

表7 「深い」ー「浅い」分析結果一覧
性別の主効果の検定

問いかけ	F(1,129)=16.211, p<.01
指示A	F(1,129)=9.284, p<.05
説明	F(1,129)=.829, n.s.
指示B	F(1,129)=10.540, p<.05
示唆A	F(1,129)=3.919, p<.05
指示C	F(1,129)=5.443, p<.05
深化	F(1,129)=2.582, n.s.
示唆B	F(1,129)=4.522, p<.05

結果のまとめ

◆ 「やわらかいーかたい」

選定された暗示文全てにおいて、
直接暗示文が「かたい」印象を持っていることが示された。

◆ 「深いー浅い」

問いかけ暗示、指示暗示A・B・C、示唆暗示A・Bにおいて、
男性が女性と比べて「浅い」印象を持っていることが示された。

考察 「かたさ」について

▶ 直接暗示文の持つ「かたい」印象の要因とは？

○ 日本語の表現、文章の堅苦しさ

→ 命令形表現の婉曲化 (高澤 2015)

○ “かける”側, “かけられる”側という関係の構築

考察 催眠感受性の性差について

▶ 催眠感受性に性差は？

○ 女性の催眠感受性

→ 篠崎・成瀬 (1966) の研究

○ 調査参加者のモチベーション

考察 暗示文の表現形態について

▶ 直接暗示文の表現形態



命令形にすることによって直接暗示的な印象を持つ暗示文に変化させることが出来る

▶ 間接暗示文の表現形態



指示暗示が全て示唆暗示に変化していることから、間接暗示的な印象を表現できていたと言える

今後の展望

- ▶ 統制文としてスタンフォード催眠感受性尺度を用いた事
- ▶ 許容語以外の間接暗示技法の使用
- ▶ 暗示文の表現の重要性について

皆様からのご質問、ご意見などお待ちしております

ご清聴ありがとうございました

本報告は、2019年度東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科修士論文の一部である。

文献

- ▶ Erickson, M. H., 1973, Psychological shocks and creative moments in psychotherapy, American Journal of Clinical Hypnosis, 16 : 9-22
- ▶ Erickson, H. M. (1966). The interspersal hypnotic technique for symptom correction and pain control. American Journal Of Clinical Hypnosis, 8, 198-209.
- ▶ 井上正明・小林利宣 1985. 日本におけるSD法による研究分野とその形容詞対尺度構成の概観 Japanese Association of Educational Psychology, 33, 253-260
- ▶ 小山望・長谷川浩一 1980 催眠に対する意識調査—発達心理学的観点から— 催眠学研究, 24-1, 35-37.
- ▶ Lankton., 2010 Hypnotic Language (窪田文子 (訳) 催眠療法における言語) 催眠学研究 52, 1-12
- ▶ 小原宏基 2012 催眠感受性の規定因についての検討 帝塚山大学心のケアセンター紀要, 8, 69-70
- ▶ Orme MT, Whitehouse WG, Dinges DF, Orme EC. 1988. Reconstructing memory through hypnosis : Forensic and Clinical Implications. In : Pettinati HM (Ed.) : Hypnosis and Memory, Guilford, New York, pp.21-63. (大谷彰 2008 PTSDと催眠—記憶・傷みの記憶 臨床心理学, 8-5, 652-660)
- ▶ 力富敬子 1971 被暗示性に関する発達研究 (1) 催眠研究, 15, 22-30
- ▶ 斎藤裕正・加納友子 1993 催眠感受性の日内変動 催眠学研究, 37-1, 6-11.
- ▶ 佐瀬竜一 2005 受動的注意集中と能動的注意集中の心理生理的反応の比較 催眠学研究, 49, 28-36
- ▶ 菅生真之・立谷泰久・三村寛・長田一臣・橋本基久 2004 直感暗示示中での受動的注意集中 および積極的イメージ想起による自律神経機能変化傾向の比較 催眠学研究, 48, 10-19
- ▶ 高井秀明・橋本基久 2009 閉眼と開眼における自律訓練法の心理・生理的反応の比較 催眠学研究, 51, 14-20
- ▶ 高石昇・大谷彰 2012. 現代催眠療法論 臨床・理論・検証 金剛出版.
- ▶ 大海作夫・山田修平・橋本栄修・夏目誠・和多田裕・中野志隆 1975 催眠感受性の研究 催眠学研究, 19-1, 3-10
- ▶ 高澤信子 2015 近現代における「指示・命令表現」について：江戸期から平成期へ 立教 大学日本学研究所年報, 13, 90 - 97
- ▶ Weitzenhoffer, A. M. & Hilgard, E. R., 1959, Stanford Hypnotic Susceptibility Scale Forms A and B, Palo Alto, CA : Consulting Psychologist Press. (橋本亮夫・吉田護 (訳), 斎藤裕正 (改訂訳) 1962, 2004 スタンフォード催眠感受性スケール (臨床心理学研究会)
- ▶ William Hudson O'Hanlon, Michael Marlin, 2001 ミルトン・エリクソンの催眠療法入門 (宮田敬一 (監訳), 津川秀夫 (訳) 金剛出版)
- ▶ 八巻秀 2006 「関係性」という視点から見た催眠臨床 催眠学研究, 49, 28-35